

グライダー・F3K用 8mm 薄型サーボ

S-AG300

取扱説明書

△警告

① 電源は必ず送信機→受信機の順に ON にする。飛行前には全てのサーボの動作を確認する。

② 電源が ON の状態でサーボのコネクターを抜きささない。

■電源が ON の状態でコネクターを抜きさすと、S.BUS 接続されたサーボが誤認識して停止する恐れがあります。

③ サーボをロックした状態で放置しない。

■ロック状態（サーボが動かない状態）が続くと、発煙・発火・破損の恐れがあります。

④ 電源の+（赤線）と-（黒線）を逆に接続しない。

■逆に接続すると、発煙・発火・破損の恐れがあります。

⑤ 砂ほこりや水をかけない。

■サーボは防水構造にはなっていません。水がはいると、回路がショートし故障や誤動作の原因となります。

⑥ エンジン模型や大トルクを必要とする大型モデルには使用しない。

■エンジン模型に使用する

と振動によりサーボが破損し墜落する危険性があります。

① リンケージはロッドが引っかかったり、たわんだりしないように取り付けます。

■無理な力が加わるとモーターの寿命を縮めたり、電池の消耗を早めます。

△注意

② 飛行した直後に、サーボのケースには触れない。

■温度上昇によりケースが高温となるため、やけどの恐れがあります。

③ サーボホーンを無理に回さない。

■サーボが破損する可能性があります。

④ 分解・改造をしない。

■弊社指定以外の分解や改造をされた場合、一切の責任を負いかねます。

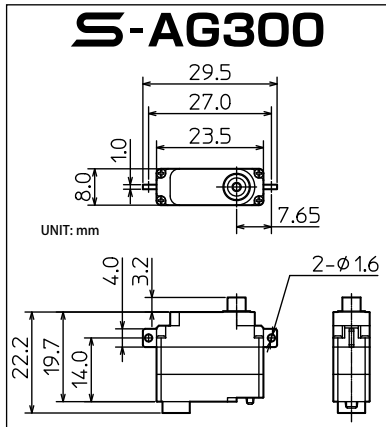
⑤ サーボを硬いものでたたいたり、硬い床面に落とさない。

■衝撃により破損する場合があります。

⑥ ホビー用途でのアクチュエータ用として使用する。

■上記以外の用途に使用した場合、一切の責任を負いかねます。

このたびはグライダー用薄型サーボ S-AG300 をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前に本説明書をよく読んで、正しい使い方により、末永くお楽しみください。



スペック	
用途	: グライダー・F3K 用
外寸	: 23.5 × 8.0 × 19.7 mm
重量	: 10.8 g
定格電圧	: 4.8 ~ 7.4 V
使用電源電圧	: 3.8 ~ 8.4 V
トルク (7.4 V)	: 2.5 kgf・cm
トルク (3.8 V)	: 1.5 kgf・cm
スピード (7.4 V)	: 0.065 s/60°
スピード (3.8 V)	: 0.130 s/60°
モーター	: コアレスモーター
ケース	: オールアルミ
ギヤ	: メタル

弊社製品以外との組み合わせにより発生した損害等につきましては弊社では責任を負いかねます。

●サーボ・ホーン、サーボ・ホーン止めねじ

S-AG300のサーボ・ホーンおよびサーボ・ホーン止めねじは専用です。従来のものは使用できません。必ず付属のサーボ・ホーンとサーボ・ホーン止めねじをご使用ください。（付属のタッピングねじ2本は機体取付用です。）

●消費電流について

サーボ動作時には大きな電流が流れますので、常にバッテリーの残量に注意して、安全な飛行回数（時間）を決めてください。

●電源について

使用電源は、本書の表示を参照して正しくご使用ください。電源には十分に余裕のあるバッテリーまたはリギュレーターを使用してください。乾電池では所定の性能を発揮できません。受信機によってはバッテリーフェイルセーフ機能は正常に動作しません。こまめに電池残量をチェックしてください。S.BUSシステムでサーボを別電源で使用する場合は別売の三又ハブ（別電源用）を使用してください。

●使用システムについて

このサーボは、本来の性能を発揮させるために、2.4GHzシステムでの使用をおすすめします。

●プログラマブル機能について

このサーボは、別売のUSBアダプター CIU-2/CIU-3 を使用してパソコンと接続し、専用のリンクソフト「S-Link」(Futaba WEB サイトより無料ダウンロード可能)により、様々な動作特性を変更することが可能です。従来のS.BUS PC-Link ソフトでは、チャンネル設定やその他動作特性の設定はできません。

S.BUS 設定機能付送信機をご使用の場合は、送信機のS.BUS 設定コネクターにS.BUS2 サーボを接続することで、動作特性を送信機の画面上で設定できます。このサーボには停止モードの機能はありません。サーボの入力信号が途絶えた時は、ホールドのままとなります。また、設定値が適正でない場合、発振する場合があります。この状態を継続すると、モーターが発熱し故障の原因となりますので、ただちに設定を元にもとめてください。

●ソフトスタートについて

このサーボはリンケージ保護のため、電源投入時の最初の1動作のみ、ゆっくりと操作位置に移動します。以降、通常動作となります。また、本動作中に操作位置の変更があった場合は直ちに通常動作となります。

S.BUS/S.BUS2 システムについて

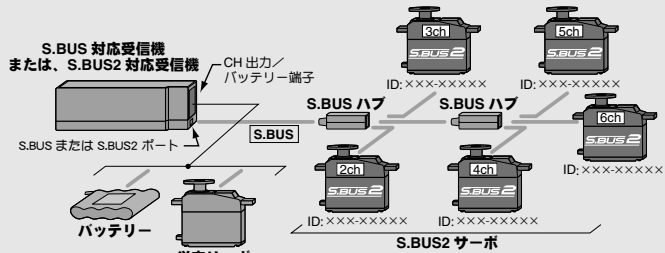
S.BUS2 システムとは

S.BUS2 は従来の S.BUS を拡張し、センサー等から受信機への双方向通信をサポートしたシステムです。センサー等は、この S.BUS2 コネクターに接続して使用しますが、このサーボは、S.BUS2 システムに対応したサーボですので、センサー等と同じ S.BUS2 ポートに接続して使用することができます。また S.BUS2 サーボは S.BUS ポートに接続することもできます。

S.BUS システムとは

S.BUS システムでは従来のラジコンシステムとは異なり、操作信号は受信機からサーボやジャイロなどの S.BUS 対応機器へデータ通信により送信されます。このデータには「チャンネル3のサーボが15度に、チャンネル5のサーボは30度に」といったように複数の機器への指示がまとめて含まれており、S.BUS 対応機器はその中から自分に設定されたチャンネルの部分のみを実行します。そのため、複数のサーボを同じ信号線に接続して使用することができます。また、S.BUS サーボは複数個接続された状態でも ID コードを使用することで、特定のサーボのパラメーター設定などを行うことができます。ID コードは専用のリンクソフト「S-Link」または S.BUS 設定機能付送信機により確認できます。

● S.BUS/S.BUS2 システムでの接続方法



※ S.BUS 対応受信機の場合 S.BUS2 サーボと従来のサーボとの併用も可能
 ※必要な物：S.BUS 受信機または S.BUS2 受信機、S.BUS2 サーボ、S.BUS ハブ、S.BUS チャンネル設定機器（SBC-1、S.BUS チャンネル設定対応受信機、S.BUS 設定機能付送信機、USB アダプター CIU-2/CIU-3 のいずれか1つ）

< S.BUS/S.BUS2 システムでの使用手順 >

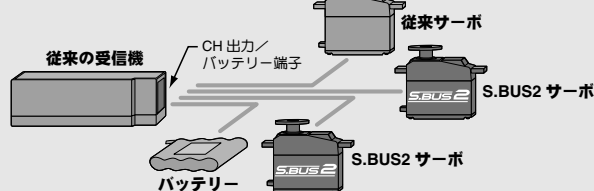
1. S.BUS2 サーボにチャンネルを設定する

S.BUS チャンネル設定機器を使用して S.BUS2 サーボにチャンネルを設定します。S.BUS2 サーボのチャンネルの設定方法はそれぞれの S.BUS 設定機器の取扱説明書をご参照ください。

2. S.BUS 対応受信機または S.BUS2 対応受信機にサーボを接続する

S.BUS または S.BUS2 対応受信機の S.BUS または S.BUS2 ポートから、S.BUS ハブを介してサーボを接続します。

●従来の受信機との接続方法



※ S.BUS2 サーボは従来のサーボと同様に動作

<従来のラジコンでの動作>

従来の受信機に接続された S.BUS2 サーボは従来のサーボとして動作します。S.BUS2 サーボのチャンネル設定にかかわらず接続された CH の動作となります。

※プログラマブル機能で設定された内容は有効になります。

■双葉電子工業（株）
 ラジコンカスタマーサービス
 〒299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚 1080
 TEL.(0475)32-4395